

スピーカーアキュライザーの活用(4)  
ーハイレゾファイル音源再生ー

1. 始めに

前報(1)のスピーカーアキュライザーSPA-7の配置替えの結果を試聴していきます。

2. スピーカーアキュライザーSPA-7の試聴方法

ハイレゾファイル音源の試聴ということでスピーカーアキュライザーSPA-7の導入(4)と同じ音源を使用します。

試聴するファイル音源は以下のとおりで、fidata HFAS1-S10 収納音源から USB 経由で Brooklyn DAC+への送り出しの再生とします。使用する音源は、ステレオサウンド社の 11.2MHzDSD 音源とユニバーサルミュージックの MQA 音源から選び、アナログマスターの雰囲気やハイレゾ音源のメリットを確認することとします。

11.2MHzDSD 音源

ステレオサウンド社 SSHRB-006

グスターヴ・ホルスト 組曲《惑星》

ズービン・メータ指揮 ロスアンゼルスフィルハーモニー管弦楽団

ステレオサウンド社 SSHRB-005

ヨハン・セバスティアン・バッハ 無伴奏チェロ組曲

ヤーノシュ・シュタルケル

ステレオサウンド社 SSHRB-004

ロイヤルバレエガラコンサート

チャイコフスキー他 くるみ割り人形(抜粋) 他

エルネスト・アンセルメ指揮コヴェントガーデン王立歌劇場管弦楽団

MQA 音源

Universal Music UCCG-40074(MQACD)

ドボルザーク 交響曲 8 番・9 番

ラファエル・クーベリック指揮ベルリンフィル

Universal Music UCCG-40005(MQACD)

アントン・ブルックナー 交響曲第 4 番《ロマンティック》

カール・ベーム指揮ウィーンフィル

Universal Music UCCG-40007(MQACD)

グスタフ・マーラー 交響曲第 5 番

## ゲオルグ・ショルティ指揮シカゴ交響楽団

### 3. スピーカーアキュライザーSPA-7の試聴結果

ホルストの惑星は、広大な音場感とダイナミズムが感じられます。

バッハの無伴奏チェロ組曲は、シュタルケルのチェロのボウイングの滑らかな響きや胴鳴りや余韻が聴き取れます。

ロイヤルバレエガラコンサートは、バレエ音楽らしい、華やかなステージ感が感じられます。

以上はアナログマスターからのDSDリマスターされたものですが、アナログマスターらしさが感じられる反面、マスターテープの傷みのような音の粗さもところどころ聴き取れます。

ドボルザークの交響曲8番・9番は、CDに比べて滑らかさがあり、中欧の牧歌的な抒情性が表現されています。

ブルックナーの交響曲第4番《ロマンティック》は、解像度のよい弱音部から爆発するフォルテッシモまでダイナミックレンジに追随できています。

マーラーの交響曲第5番は、輝かしい金管の響きから、低音の刻みや弦の滑らかさまで表現できています。

### 4. まとめ

11.2MHzDSD音源とMQA音源とも、かなりのところアナログマスターの雰囲気再現されており、アナログマスターからハイレゾ音源へのリマスター化のメリットが感じられます。

以上